

みんなで取り戻そう



市では豊かで安全な海を取り戻すためにさまざまな取り組みを行っています。今号では、市の取り組みのほか、来年11月に開催される「全国豊かな海づくり大会」のプレイベントについて紹介します。

お問い合わせ／豊かな海づくり室 (TEL)918-5250 (FAX)918-5136



海の豊かさを守ろう

栄養塩を増やす取り組み



栄養塩

栄養塩ってなに？

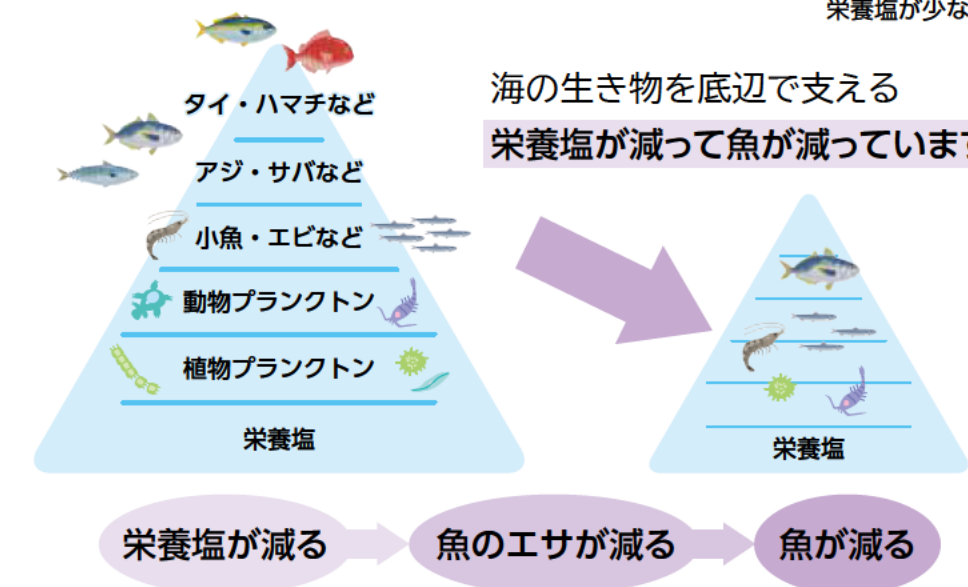
窒素・リンなど海水中に溶け込んでいる物質です。海ではプランクトンやノリなど、生き物の成長に欠かせません。

1960～1970年代の高度経済成長期、瀬戸内海は工場や家庭の排水で栄養塩が増えすぎて海が汚れ、赤潮が発生し、多くの魚が死亡するなど「瀕死の海」と言われました。その後、厳しい規制により、水質は大きく改善しましたが、今度は栄養塩が減りすぎてしまい、海の生産性が弱まってきました。



赤潮が発生した海

今の海(きれいになりすぎて、栄養塩が少ない状態)



海の生き物を底辺で支える

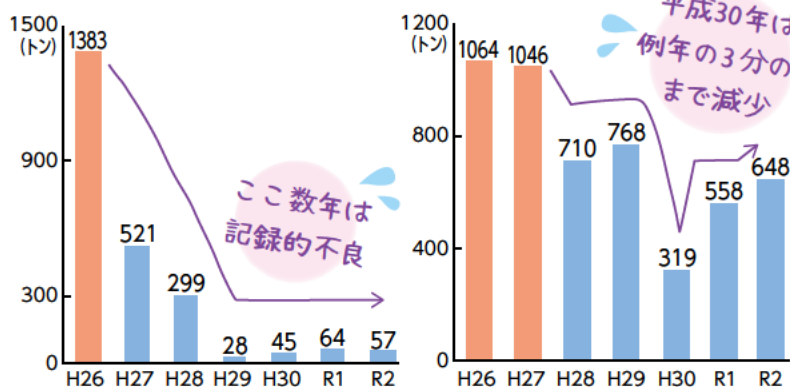
栄養塩が減って魚が減っています

栄養塩が減る → 魚のエサが減る → 魚が減る

近年、明石の海の漁獲量が減っています

イカナゴの漁獲量

マダコの漁獲量



出典：農水産課

獲りすぎが原因？

当初は魚の獲りすぎが原因と考えられ、漁の期間を短縮するなど資源を残す対策を取りましたが、漁獲量は減少し続けました。

最近では、海の栄養塩の不足が原因と分かってきました

来年11月に向けて、プレイベント続々開催

全国豊かな海づくり大会 1年前プレイベント

市民会館で大会テーマやキャラクターをお披露目するほか、豊かな海に関する絵画や作文の表彰などを行います。また、明石港ベランダ護岸でマダイやヒラメの稚魚放流などを行います。

※招待客のみの参加となります。

豊かな海づくりフェスタ 2021

サザエ釣りや缶バッジ作りといった体験コーナー、川の生き物水族館など、豊かな海と川について楽しく学ぶことができます。

日時／10月16日(土)・17日(日) 午前9時30分～午後4時 (17日は午後3時まで)

場所／明石公園千畳芝

お問い合わせ／第41回全国豊かな海づくり大会 兵庫県実行委員会事務局 (県全国豊かな海づくり大会企画課内) TEL362-9186 FAX362-4023

あかし豊かな海づくりコーナー

明石の豊かな海づくりを紹介する動画や展示、小学生・高校生の研究発表などを通じて、明石の海や魚・豊かな海づくりについて学ぶことができるスペースがパピオスあかし5階にオープンします。

※10月17日(日)午後3時から一般公開

明石たこ大使 さかなクントークショー

さかなクンが小・中学生や高校生向けに、豊かな海づくりや明石の魚の生態を分かりやすく伝えます。

※参加者の募集は終了しています

さかなクン マイボトル 読者プレゼント 「豊かな海の写真」を撮って応募しよう

さかなクン マイボトルを抽選で10人にプレゼント！ペットボトルの使用を減らし、ごみ削減にみんなで取り組みましょう。

申し込み／あなたが思う「豊かな海の写真」(漁港、海の幸、海岸など)を11月2日(火)までに広報課 (kouhouakashi@city.akashi.lg.jp)へ

※募集要項など詳しくは市ホームページで確認を お問い合わせ／広報課 (TEL)918-5001



©2021 ANAN AND Tm



海底耕うん



縦1.5m×横1.5m 鉄製の耕うん桁

漁船が専用の「耕うん桁」を引いて海底を耕し、海底に沈んでいる栄養塩を海水に戻します。県内では2020年に全国トップの延べ約2700隻が作業に当たるなど、力を入れています。



陸の豊かさを海へ

ため池が多い、明石ならではの取り組み

かいぼりで「海」も豊かに



ため池の水を抜き、池の点検や水質の浄化を行うだけではなく、池の水や泥に含まれる栄養分を海に届けます。また、かいぼりは農業者だけでなく、漁業者も連携して行っています。

国も注目!

下水処理場の栄養塩管理運転

下水処理場からの放流水に含まれる窒素の量を増加させ、海に栄養を届けています。



二見浄化センターの栄養塩管理運転の様子を視察する小泉前環境大臣 (2021年3月)

魚にとって豊かな海とは

ごみがなく、栄養塩やエサのプランクトンが十分にあり、生き物がたくさん住んでいる、バランスの良い海のこと。

豊かな海を守るため 私たちが家庭でできること

- 明石産の魚介類を買う、食べる
- 池や川、側溝にごみ・汚れた水などを流さない

プラスチックごみは絶対に捨てないで!



海洋ごみの回収

生態系に影響を及ぼすプラスチックなど海洋ごみの回収を、漁業者と連携し進めています。



New

安全・安心な海岸に

水上バイクの危険運転が発生したことを受けて、すべての人が安全で安心に利用できる海岸になるよう取り組みを進めています。

お問い合わせ／海岸・治水課 (TEL)918-5042 (FAX)918-5109

合同パトロールの実施

神戸海上保安部や警察などと海岸の合同パトロールを実施。水上バイク運転者に注意喚起を行いました。

監視カメラの設置

海岸に監視カメラを10台設置し、海岸を利用する人の安全を確保します。

「海岸域の安全利用にかかる連絡会議」の設置

国や県、水上バイクメーカーなどが出席する連絡会議を設置。安全で安心に利用できる海岸となるよう協議を進めていきます。